

目標達成計画

作成日:平成26年9月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議に入居者の参加や、福祉事故、ヒヤリ・ハット等の報告が行われていない。また、ヒヤリ・ハット報告が少ない現状がある。	運営推進会議での入居者本人の希望、要望を今後のケアに活かせるよう取り組むと共に、福祉事故、ヒヤリ・ハット報告を基に第三者からの意見をケア・運営に生すよう努める。	①入居者が話しやすい・和める場を提供する。 ②記入しやすいヒヤリ・ハット報告書文書の見直しを行なう。 ③ヒヤリ・ハットの重要性をミーティング等で周知を行いヒヤリ・ハット文書の記入・提出に繋がる仕組みを検討する。 ④第三者からの意見を基に対応策を話し合う。	12ヶ月
2	35	災害時の地域住民の協力や、食糧等の備蓄への取り組みが早急に必要である。	食糧等の備蓄と、災害時に地域住民の協力を得ながら迅速、安全に避難が行なえる体制作りに努める。	①地域住民の協力を得るために、まずグループホーム職員が地域の行事に出かけ協力体制を築く。 ②近隣の方へ消防訓練への参加協力を働きかける。 ③食糧等の購入を早急に行い、年度ごとに箱詰め・配置場所を決める。 ④定期的に備蓄の賞味期限確認に努める。	12ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。